

「果樹農業における担い手の育成及び活躍表彰」で (株)フルーツオンザヒルが最高賞を受賞

公益財団法人中央果実協会が主催する「果樹農業における担い手の育成及び活躍表彰」において、群馬県の果樹生産者「株式会社フルーツオンザヒル」（高崎市）が、農林水産省農産局長賞（最高賞）を受賞しました。

1 受賞者の概要

- （１）受賞者 株式会社フルーツオンザヒル 代表取締役 齋藤勝彦
- （２）受賞 活躍する担い手の部 農林水産省農産局長賞（最高賞）

2 「果樹農業における担い手の育成及び活躍表彰」とは

令和5年度から開始し、今年で2年目の表彰です。果樹生産現場で担い手の育成・確保に取り組んでいる組織や、果樹経営に積極的に挑戦している生産者等を表彰します。

- （１）主催 公益財団法人中央果実協会
- （２）後援 農林水産省

3 参考資料

- （１）果樹農業における担い手の育成及び活躍表彰 令和6年度受賞者一覧
<https://www.japanfruit.jp/producer/tabid153.html>
- （２）株式会社フルーツオンザヒル
<https://fruitonthehill.co.jp>



農園内のカフェ



スイーツの販売

取組の概要

- ・齋藤氏は、平成24年に新規就農し同社を設立。おもちゃ屋経営の経験を活かし遊休農地を整備し、観光農園として開園。
- ・2.7haの園地で、家族経営を基盤に年間を通じた常時雇用15名により、5月～9月の間収穫体験できるブルーベリーをはじめ、ぶどう、いちご、いちじくなどを栽培し、収穫体験や農園直売を中心とした観光農園を展開。
- ・ブルーベリーの無農薬栽培やぶどうの無化学肥料栽培、竹チップ等を活用した土壌改良等環境に配慮した栽培方法によりSDGs経営を実践。
- ・自社農園産果実(規格外品を含む)を使ったアイスバー、フレッシュジュース、パフェ等を農園内カフェで提供。また、高崎特産のうめの加工品を販売。
- ・県内の中学・高校生の職場体験の受入れや、地元高校と協力し高校生のアイデアを取り入れた商品開発・販売を実施。
- ・県内の6次産業化観光農園のモデル的存在として情報を発信し、県内外のトップリーダーと交流。



整備前の遊休農地と整備の状況



整備後のブルーベリー狩り観光園



農園内のカフェとアイスバー(常時12～14種)の販売の状況